

2018年3月期 第1四半期決算説明会

2017年7月31日

目次

1. 2018年3月期 第1四半期決算概要 ————— p.3-6
2. 2018年3月期 通期業績予想 ————— p.7-10
3. セグメント別状況 ————— p.11-16

1. 2018年3月期第1四半期決算概要

- ▶ 対前年同期比 大幅な増収、黒字転換
コンテナ船とドライバルカーは前年の市況最悪期から緩やかな回復基調にあり業績は大幅に改善

- 定期船 荷動き好調で高消席率を維持
4月からの新アライアンス再編は大きな混乱もなく成功裏に完了

- 航空運送 予想以上に荷動きは活発、運賃も上昇

- 物流 海上輸送・航空輸送ともに仕入れ運賃の高止まりにより粗利低下

- 不定期専用船 ドライバルクの荷動きは活発で市況は回復基調にあるが、老齢船の解撤意欲停滞による船腹余剰感から足元は一時的に軟化
タンカー市況は想定を下回り軟調に推移したが、LNG・海洋事業の高稼働が収支下支え
自動車船は北米・欧州向けが好調なるも、資源国向けは低迷

第1四半期決算 (サマリー)

1Q決算



- ▶ 対前年同期比 大幅な増収、黒字転換
- ▶ 全般的に好調な荷動きを背景に燃料油価の上昇を跳ね返す

(億円)	17/3期							18/3期	1Q比較 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	
売上高	4,707	4,578	9,285	4,859	5,093	9,952	19,238	5,217	509
営業損益	▲109	▲115	▲224	69	▲25	43	▲180	35	145
経常損益	▲99	▲136	▲236	259	▲12	246	10	102	202
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲127	▲2,190	▲2,318	57	▲396	▲339	▲2,657	53	181
為替レート	¥ 111.12	¥ 103.50	¥ 107.31	¥ 106.13	¥ 114.29	¥ 110.21	¥ 108.76	¥ 111.48	+ ¥ 0.36
燃料油価格	\$ 192.62	\$ 238.71	\$ 215.67	\$ 270.71	\$ 312.94	\$ 291.83	\$ 253.75	\$ 326.72	+ \$ 134.10

前年同期比較（セグメント別）

1Q決算



- ▶ 定期船の積高は増加
- ▶ 航空運送は好調な出だし、不定期船市況は緩やかな回復基調

事業セグメント (億円)	17/3期							18/3期	1Q比較 増減	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q		
一般貨物輸送事業	定期船	1,414 ▲88	1,391 ▲64	2,805 ▲153	1,498 39	1,554 ▲13	3,053 25	5,859 ▲127	1,715 57	301 145
	航空運送	190 ▲19	194 ▲14	385 ▲34	225 22	209 38	434 61	819 26	233 7	43 27
	物流	1,138 21	1,119 24	2,258 46	1,180 20	1,175 9	2,355 30	4,613 76	1,189 ▲0	51 ▲22
	(単純合計)	2,743 ▲86	2,706 ▲54	5,449 ▲141	2,904 82	2,938 34	5,842 116	11,291 ▲24	3,139 63	395 150
不定期専用船	1,801 ▲8	1,696 ▲85	3,498 ▲94	1,766 80	1,912 ▲27	3,679 52	7,177 ▲41	1,889 27	87 36	
その他事業	不動産	24 9	24 9	48 18	25 94	20 7	45 101	94 120	19 6	▲4 ▲3
	その他	320 ▲6	345 1	666 ▲5	370 6	428 ▲16	799 ▲9	1,466 ▲14	390 11	69 17
消去・全社	▲182 ▲7	▲193 ▲7	▲376 ▲14	▲207 ▲4	▲206 ▲10	▲414 ▲15	▲790 ▲29	▲222 ▲6	▲39 0	
連結	4,707 ▲99	4,578 ▲136	9,285 ▲236	4,859 259	5,093 ▲12	9,952 246	19,238 10	5,217 102	509 202	

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益
© 2017. NYK Group. All rights reserved.

(億円)

円安	1	今期 111.48円/\$, 0.36円の円安
燃料油高	▲35	今期 \$326.72/MT, \$134.10の上昇
海運市況変動等	121	
コスト削減	12	
為替差損益	55	
その他	48	(含む、構造改革効果 40)
合計	202	

▶ 通期業績予想は、期初の想定並みに据え置く

- ▶ 定期船 期初予想比 上方修正
欧州を中心に荷動きは堅調だが、北米航路は船腹供給増加で運賃が伸び悩む
一定の定期船事業統合費用を織り込みつつ、ターミナル等で利益積み上げ
- ▶ 航空運送 ほぼ期初予想並み
荷動きは引き続き堅調に推移
- ▶ 物流 ほぼ期初予想並み
1Qは不調だったが、回復基調にある
- ▶ 不定期専用船 期初予想比 下方修正
ドライバルカー・タンカーの市況は、上期は想定を下回るも下期は期初予想並み
自動車船は、三国間を中心に輸送量が増加

▶ 配当 従来予想を据え置き (中間期 見送り 期末 未定)

(億円)	17/3期 (実績)				通期	18/3期 (予想)				通期増減	前回予想比 (通期)
	上期		下期			上期		下期			
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q (実)	2Q	下期	通期		
売上高	9,285		9,952		19,238	10,530		10,590	21,120	1,882	1,040
	4,707	4,578	4,859	5,093		5,217	5,313				
営業損益	▲224		43		▲180	85		130	215	395	▲30
	▲109	▲115	69	▲25		35	50				
経常損益	▲236		246		10	145		85	230	220	0
	▲99	▲136	259	▲12		102	43				
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲2,318		▲339		▲2,657	10		40	50	2,707	0
	▲127	▲2,190	57	▲396		53	▲43				

為替レート	¥111.12	¥103.50	¥106.13	¥114.29	¥108.76	¥111.48	¥110.00	¥110.00	¥110.37	¥1.61
燃料油価格	\$192.62	\$238.71	\$270.71	\$312.94	\$253.75	\$326.72	\$340.00	\$340.00	\$336.68	\$82.93

▶ 経常利益に対する感応度

為替レート : 1円の円安で約4.8億円/年の増益
 燃料油価格 : \$10/MTの燃料油価格下落で約12.4億円/年の増益

▶ 配当 従来予想を据え置き (中間期 見送り 期末 未定)

通期業績予想 (セグメント別)

業績予想



事業セグメント (億円)	17/3期 (実績)					18/3期 (予想)					通期 増減	
	1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q (実)	2Q	上期	下期	通期		
一般貨物輸送事業	定期船	1,414 ▲88	1,391 ▲64	2,805 ▲153	3,053 25	5,859 ▲127	1,715 57	1,745 34	3,460 90	3,390 ▲40	6,850 50	991 177
	航空運送	190 ▲19	194 ▲14	385 ▲34	434 61	819 26	233 7	247 ▲2	480 5	470 10	950 15	131 ▲11
	物流	1,138 21	1,119 24	2,258 46	2,355 30	4,613 76	1,189 ▲0	1,331 35	2,520 35	2,580 50	5,100 85	487 9
	(単純合計)	2,743 ▲86	2,706 ▲54	5,449 ▲141	5,842 116	11,291 ▲24	3,139 63	3,322 67	6,460 130	6,440 20	12,900 150	1,609 174
不定期専用船	1,801 ▲8	1,696 ▲85	3,498 ▲94	3,679 52	7,177 ▲41	1,889 27	1,801 ▲22	3,690 5	3,740 60	7,430 65	253 106	
その他事業	不動産	24 9	24 9	48 18	45 101	94 120	19 6	21 4	40 10	40 15	80 25	▲14 ▲95
	その他	320 ▲6	345 1	666 ▲5	799 ▲9	1,466 ▲14	390 11	400 4	790 15	820 5	1,610 20	144 34
消去・全社	▲182 ▲7	▲193 ▲7	▲376 ▲14	▲414 ▲15	▲790 ▲29	▲222 ▲6	▲228 ▲9	▲450 ▲15	▲450 ▲15	▲900 ▲30	▲110 ▲1	
連結	4,707 ▲99	4,578 ▲136	9,285 ▲236	9,952 246	19,238 10	5,217 102	5,313 43	10,530 145	10,590 85	21,120 230	1,882 220	

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

- 定期船は一定の事業統合費用を織り込み済み
- 不定期専用船は市況の調整局面にあり、今後徐々に回復に向かう見込み

通期業績予想 (セグメント別・前回今回予想比較)

業績予想



事業セグメント (億円)	前回予想			今回予想			前回予想差			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
一般貨物輸送事業	定期船	3,080	3,030	6,110	3,460	3,390	6,850	380	360	740
		30	▲30	0	90	▲40	50	60	▲10	50
	航空運送	470	460	930	480	470	950	10	10	20
		0	10	10	5	10	15	5	0	5
物流		2,520	2,580	5,100	2,520	2,580	5,100	0	0	0
		35	50	85	35	50	85	0	0	0
(単純合計)		6,070	6,070	12,140	6,460	6,440	12,900	390	370	760
		65	30	95	130	20	150	65	▲10	55
不定期専用船		3,620	3,610	7,230	3,690	3,740	7,430	70	130	200
		70	55	125	5	60	65	▲65	5	▲60
不動産		35	45	80	40	40	80	5	▲5	0
		10	15	25	10	15	25	0	0	0
その他		670	760	1,430	790	820	1,610	120	60	180
		10	5	15	15	5	20	5	0	5
消去・全社		▲395	▲405	▲800	▲450	▲450	▲900	▲55	▲45	▲100
		▲15	▲15	▲30	▲15	▲15	▲30	0	0	0
連結		10,000	10,080	20,080	10,530	10,590	21,120	530	510	1,040
		140	90	230	145	85	230	5	▲5	0

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

- 上期はドライバルカー・タンカーの市況が想定を下回るも、定期船が好調
- 通期は概ね期初予想並み

- 定期船 欧州を中心に荷動きは堅調だが、北米航路は船腹供給の増加で運賃が伸び悩む
 - 航空運送 引き続き旺盛な貨物需要に応じて積高・単価両面での向上をはかる
 - 物流 仕入れ運賃の高止まりによる粗利低下状態は徐々に改善
 - 不定期専用船
- ドライバルク部門 足下の市況は調整局面にあるも、下期には期初の想定並みに回復
- リキッド部門 需要期に入る下期の市況は期初予想並みを想定
- 自動車輸送部門 新興国、資源国の需要回復は遅れているが、輸送量を確保し、更なる運航効率の最適化を追求

▶ 1. 定期船事業 – コンテナ船

輸送量・消席率 (1,000TEU)

	17/3期(実績)					18/3期(予想)				
	上期		下期		通期	上期		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q(実)	2Q			
アジア →北米 ()は前回予想値	輸送量	175	220	227	217	840	239	250	480	968
	()は前回予想値						(487)		(482)	(968)
消席率 ()は前回予想値		80%	92%	92%	90%	89%	91%	93%	91%	92%
	()は前回予想値						(92%)		(92%)	(92%)
アジア →欧州 ()は前回予想値	輸送量	117	128	124	129	498	166	178	322	666
	()は前回予想値						(333)		(306)	(639)
消席率 ()は前回予想値		91%	95%	97%	102%	96%	96%	97%	94%	95%
	()は前回予想値						(94%)		(90%)	(92%)

運賃推移 (指数表示 09/3期 1Q=100)

	17/3期(実績)					18/3期(予想)				
	上期		下期		通期	上期		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q(実)	2Q			
アジア→北米 ()は前回予想値		74	69	71	71	71	74	71	71	
	()は前回予想値						(74)		(75)	(74)
アジア→欧州 ()は前回予想値		42	46	47	51	46	50	53	53	52
	()は前回予想値						(53)		(52)	(53)

▶ 2. 航空運送事業 (NCA)

	17/3期(実績)				通期	18/3期(予想)				前回予想比 (通期)
	上期		下期			上期		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q (実)	2Q			
売上高(億円)	385		434		819	480		470	950	20
	190	194	225	209		233	247			
経常損益(億円)	▲34		61		26	5		10	15	5
	▲19	▲14	22	38		7	▲2			
輸送重量 千トン	246		263		510	285		268	553	3
	118	129	136	128		142	143			
輸送量(RTK) 百万トンキロ	1,493		1,582		3,075	1,736		1,677	3,413	55
	719	773	825	756		844	892			
供給量(ATK) 百万トンキロ	2,210		2,172		4,382	2,414		2,333	4,747	▲56
	1,080	1,130	1,121	1,050		1,180	1,233			
YIELD指数 09/3期 1Q=100	72		78		75	81		83	82	2
	74	71	79	77		81	82			
MOPS (ジェット燃料) US\$ per bbl	\$54		\$ 62		\$ 58	\$63		\$65	\$64	▲\$1
	\$54	\$54	\$60	\$64		\$61	\$65			

➤ 引き続き旺盛な貨物需要に応じて積高・単価両面での向上をはかる

▶ 3. 物流事業

	17/3期(実績)				通期	18/3期(予想)			前回 予想比 (通期)	
	上期		下期			1Q(実)	2Q	下期		通期
	1Q	2Q	3Q	4Q						
売上高(億円)	2,258		2,355		4,613	2,520		2,580	5,100	0
	1,138	1,119	1,180	1,175		1,189	1,331			
経常損益(億円)	46		30		76	35		50	85	0
	21	24	20	9		▲0	35			

▶ 仕入れ運賃の高止まりによる粗利低下状態は徐々に改善

▶ 4. 不定期専用船事業 - 1) ドライバルカー・タンカー市況動向

	17/3期(実績)					18/3期(予想)				前回予想 (通期)
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q	下期	通期	
BDI	610	736	997	936	820	1,018	989	1,098	1,051	1,111
ドライバルカー Cape (5TC)	6,684	8,080	11,983	10,970	9,429	12,231	13,000	14,000	13,308	14,750
Panamax (Pac)	4,546	5,743	7,338	7,481	6,277	8,304	7,500	9,000	8,451	9,000
Handymax (Pac)	4,836	6,509	5,841	5,972	5,789	7,832	8,000	8,500	8,208	8,500
Handy (Pac)	3,951	5,755	5,895	5,812	5,353	6,778	6,500	7,000	6,820	7,000
タンカー VLCC	43,686	19,549	49,208	31,483	35,982	22,582	25,000	40,000	31,896	35,000

※ドライバルク船型別市況 (スポット傭船料) 5TC = 5航路平均、Pac = 太平洋ラウンド 単位 = \$/day

- ドライバルク部門
- リキッド部門

足下の市況は調整局面にあるも、下期には期初の想定並みに回復需要期に入る下期の市況は期初予想並みを想定

▶ 4. 不定期専用船事業 - 2) 自動車船

	17/3期(実績)				通期	18/3期 (予想)			前回予想比 (通期)	
	上期		下期			上期	下期	通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q(実)	2Q			
輸送台数 (万台)	167		169		336	175		180	354	14
	84	83	86	83		88	87			
前年同期比	▲11%		▲7%		▲9%	5%		6%	5%	4%
	▲11%	▲11%	▲12%	▲1%		5%	4%			

- ▶ 新興国、資源国の需要回復は遅れているが、輸送量を確保し、更なる運航効率の最適化を追求